

第1回産学デザインシンポジウム

Designful?

デザインスクールの目指すデザイン性とは

山内 裕
経営管理大学院
2013/1/21

“

異なる分野の専門家と協働して
「社会のシステムやアーキテクチャ」
をデザインできる博士人材

”

ユーザのニーズ

.

潜在的なニーズの発見

製品、サービスなど



デザイン



技術キャパビリティ
との結び付け

.

技術シーズ

ユーザのニーズ

・

潜在的なニーズの発見

製品、サービスなど



デザイン

こういうことではない!

技術ケーパビリティ
との結び付け

・

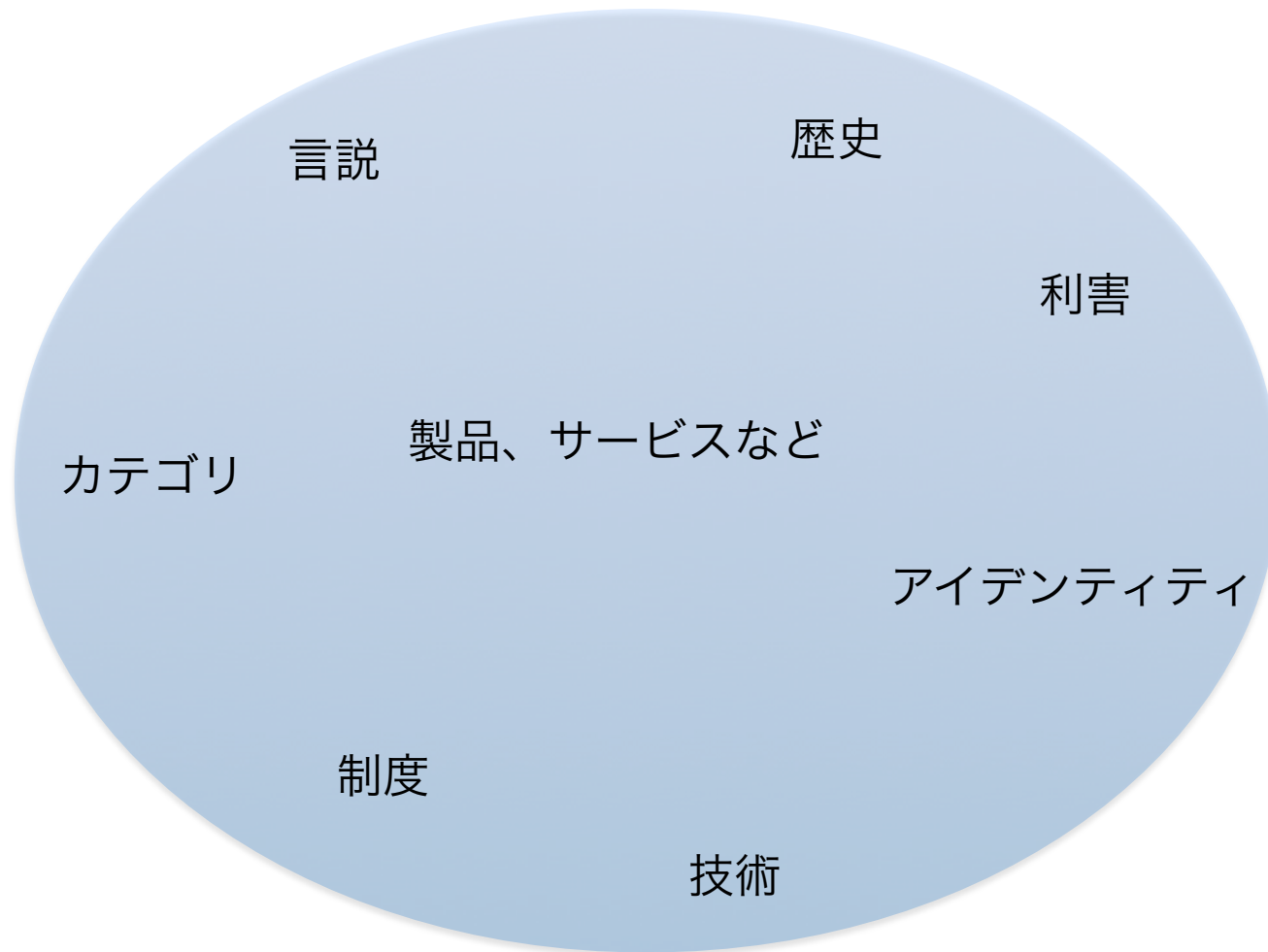
技術シーズ

われわれのデザインするもの(人工物)は 社 会。

e.g. 言説, アイデンティティ, 文化、利害など...

製品、サービスは単なる一部分。

社 会



discourse を(リ)デザインする。

人々が持っている理解(意味)を(リ)デザインする。

それにより人々が行動する。

社会のデザイン

意図した通りには動かない。

モノは「法則 law」に従う。社会は「規則 rule」に従う。

ゼロから作ることはできない。

社会はすでに存在している。リ・デザインする。

作って終わりではない。

常に変化し続ける。常にリ・デザインし続ける。

デザイナー自身も社会の一部。

コミュニティに「参加 participate」して内部から変える。

組織・コミュニティデザイン論

「社会」をデザインすることを学ぶ。

フィールド分析法(一部)とデザインエスノグラフィ

「社会」を理解するための手法を学ぶ。

デザイン型サービスの探求：料亭から学ぶ

料理屋のサービスデザイン

敷居を高くする。
入るのに緊張する。

食を読み解く。
言葉では伝えない。

食文化を育てる。
いい客を育て、客に育てられる。

Designful : サービスのデザイン性を考える

3月27-28日 / KRP

デザイン性のあるサービスを実践されている方々と議論を交える。
鮎屋の親方、ブライダルコーディネーター、
プロダクトデザイナー、ゲームデザイナー…

学生がサービスをデザインする。
「デザインスクールの新入生を歓迎するサービス」

27日午前は「みるきく、つくる、考える」ー造形デザイン事始め
(by 辰巳先生、井上先生 / 京都市芸大)